

## 平成23年度 白神山地ビジターセンターの管理運営状況

県所管課	環境生活部自然保護課
指定管理者	青森県森林組合連合会 代表理事会長 本間 家大
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日

### 1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
自然体験事業	・自然観察会の実施
文化継承事業	・ネイチャースクール、ネイチャークラフト、特別展の実施
情報発信・交流事業	・センターだよりの発行、ホームページ等による情報提供 ・イベント等を活用したビジターセンターのPR実施
施設案内資料等の作成	・施設案内リーフレット、展示ホールガイド、白神山地ガイドマップの作成

### 2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
入館者数	H20	70,000	57,783	82.5%	96.9%
	H21	70,000	54,624	78.0%	94.5%
	H22	70,000	56,767	81.1%	103.9%
	H23	70,000	40,140	57.3%	70.7%
映像体験ホール 入館者数	H20	28,435	23,599	83.0%	92.7%
	H21	28,435	20,084	70.6%	85.1%
	H22	23,599	18,107	76.7%	90.2%
	H23	23,599	13,962	59.2%	77.1%
<p><b>【増減理由】</b> 前年度から入館者数及び映像体験ホール入館者数が減少したのは、東日本大震災の影響により、県外からの教育旅行が軒並みキャンセルとなるなど、入り込み客数が大幅に減少したことによるものです。</p>					

### 3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トップシーズン（7～10月）の開館時間の延長や団体客からの要請による時間外開館など、サービスの向上に努めている。</li> <li>・利用状況アンケートを集計したところ、施設全体の満足度が大変満足、やや満足を合わせると76.9%となっており、職員・スタッフの対応については、大変満足、やや満足を合わせると81.5%となっている。</li> </ul>
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業「白神山地ビジターセンターふれあいデー」の年2回開催による利用促進や運営懇談会開催による地域交流・連携を図っている。</li> </ul>
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示物、空調機、消防設備等の修繕が実施されている。</li> </ul>
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理者を選任し、事故及び災害発生の予防及び防止に努めている。</li> <li>・緊急マニュアルを作成している。</li> </ul>
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再委託業務の委託料縮減、節電等により経費の節減に努めている。</li> <li>・映像観覧者数が目標に届いていないため、利用料金収入が伸びていない。</li> </ul>
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業を実施し、個人客の増加に結びつけている。</li> <li>・団体客については、教育機関、旅行会社に働きかけ誘致を図ってきているが、東日本大震災の影響により大きく落ち込んだ。</li> </ul>
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林組合連合会個人情報保護規定を遵守し、個人情報の保護に努めている。</li> </ul>
総合評価	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災の影響により入館者数は目標に届かなかったものの、開館時間延長によるサービス向上、設備の計画的な修繕、施設の周知等を図るための自主事業の実施など、優れた実績を上げていると評価できる。</li> </ul>

#### ○評価基準

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を要する
- D（不可）：改善や更なる取組が必要